



市民の願いにこころ寄せて議員活動に全力

日本共産党 京都市議員

# 西村よしみ 善美

2017年 7月16日(日)

議員活動報告 NO. 273号

○西村事務所 右京区梅津高畝町 39  
TEL, FAX 872-9653

○自宅 右京区梅津東構口町 17-405  
TEL, FAX 864-2009

## 市政報告と住民懇談

梅津学区(左写真)と京北(下写真)で「議会報告・懇談会」が開かれました。私は市政について報告し参加者からご意見を聞きしました。京都市は「徹底した財政構造改革を継続する」としてリストラを進めています。

例えば、市職員の削減、施設の集約、消防職員削減などすすめています。そのため職員の超勤やサービス低下が懸念されます。また、市営保育所の民間移管をすすめています。



財政では一般会計繰り出し金見直し、社会保障費5年で600億円見直しなど、聖域なき市民リストラに大ナタを振るっている。しかし、リストラを進める一方で、巨大開発と財界奉仕の方向は変えていません。巨大開発で新たな借金を



が心配される事態です。報告をもとに、参加者と意見交換をしました。意見では「市バス一日乗車券の値上げは反対」「国保は高すぎて払えない」「地域の安全対策をして欲しい」「敬老乗車証の改悪はダメ」「市バスの本数を増やして欲しい」など次々と、上がっています。意見を元に京都市へ要望していきます。

懇談では、「加計学園」や「共謀罪」等いまの国政に対する問題も活発に出されました。

## 敬老乗車証制度「改悪」

京都市の敬老乗車証制度が、利用者の負担を増やす方向で改悪されようとしています。京都市敬老乗車証制度について本市は、2013年7月に京都市社会福祉審議会の答申を経て、これまでの応能負担から応益負担へ内容を大きく変える方向で検討をすすめてきました。

京都市敬老乗車証制度について本市は、2013年7月に京都市社会福祉審議会の答申を経て、これまでの応能負担から9割の方が負担増になると指摘し、応益負担への変更で負担が増え、低所得者ほど負担が重くなり、利用抑制を招き、社会参加や介護予防も後退すると指摘しています。制度の維持を求めて約3000筆が京都市へ提出されています。

そして、このたび議会で、「社会保障経費の増大など、本制度を取り巻く課題等について、市民に周知をはかっていく」と共に、「幅広い世代層

## 京北大雪災害復旧進む

今年の1月14日から17日にかけて降った大雪で倒木が広範囲に発生した場所では、「大雪災害復旧」として、伐採作業が進んでいます(写真は京北弓楸町の倒木伐採現場)。

今年の大雪被害は、特に京北地域で大規模に起こり、北山杉倒木、ビニールハウス損壊等の被害と共に、停電、土砂崩れなども発生しました。これらの復旧対策を、京都市、京都府、近畿農政局等へ申し入れを行ってきました。更に復旧が進むよう取組みます。



## 国交省が洪水想定公表

国交省近畿整備局淀川事務所へ市議団メンバーらと

調査に行ってきました。同局が先日、淀川水系の洪水浸水想定図を新たなデータを元に策定公表したことへの聞き取り調査です(上の写真)。

調査は主に、京都市内の桂川に関係する議員が地元の情報や要望を聞きました。公表されたデータは360mm、24Hを想定したのですが、大変興味深い内容です。

今回の情報は各自自治体で住民に周知され、ハザードマップの見直しもされる計画です。引き続き、調査し対策を求めていきます。

